

西  
初<sub>川</sub>等<sub>文</sub>  
修<sub>仲</sub>身<sub>編</sub>書  
首卷

271  
30

K110.1  
225

B I

275



西川文仲編首卷

初等修身書

大黒屋藏版

東國圖書

初等修身書

西川文仲編

孝

○よく父  
 母につか  
 ふるを孝  
 といふ

朱子

解釋口授

たよそ 人の 子た  
 るものは いとけか  
 きときより 父母を  
 大切にし かにご  
 とも その たほせ  
 に したかひ また

そのたしへを  
よくくまもりて  
つねに父母の  
わがことに心配  
せざるやうに  
つか  
ふるを孝行と  
いふなり

○ 孝は 徳

の もと

孝經

なり

解釋口授

父母に 孝行するは

人たる みちの  
もとなり  
ゆゑに 人は いと  
けなき ときより  
父母に 孝行するを  
第一の つとめと  
すべし」

○ 父母に  
つかへては  
よくそ  
の力を

つくすべし

解 釋 口 授

論 語

父母につかふるに  
はよろづのこと  
わがちからの  
あらんかぎり

言 格

つくすべし

○ 人の 木

こなひは

孝より 木

ほひなるは

かゝる

孝經

解釋口授

人のなすべきみ  
ちはたほけれど  
父母に孝行するほ

ど 大切なることは

かゝる

されば父母に孝  
行する ことを志  
ばし の まも ます  
るゝ かか

○父母の  
おん きは  
まはり あき  
こと 天地

にひと

解釋口授

大和俗訓

こゝろみに おもへ  
父母の われらを  
うみ また 今日  
まぐそだて たま



悌

あるべからず

よく

兄

ひし 恩は いかば  
かりぞや その 木  
ほひなること 天地  
と をあど  
たゞ 孝行して こ  
の 木ほひなる 木  
んを むくひずは

長に  
つ  
か  
ふ  
る  
を  
と  
い  
ふ  
』

朱子

解釋口授

兄 また われより

年うへかるもの  
をうやまひてあ  
などならずなにごと  
も兄長をさきに  
しおれをのちに  
するを悌といふ』

○兄に  
よろしく  
兄弟  
によろしく

解釋口授

兄弟姉妹は  
つねに

詩經

忠

あかよくし  
か  
そめにも  
けんくは  
いひあひ  
など  
あすべ  
からず

○孝をも  
つて君に  
つかふは  
ばすなは

ち 忠なり

解釋口授

父母に孝行する  
こゝろにて君を  
尊敬し たてまつる  
べし

孝經

言格

師友

○先生  
へを  
ほむ

ごこせば  
弟子これ  
のつとる

解釋口授

なにごとも

教師の  
管子

師友

十三

言格

○ 朋友 信

おへられこ  
こはそのことば  
に志たがひて  
心にならふべし

あり

孟子

解釋口授

ともだちとあそび  
まじはるにはい  
つはりをいはず  
あざむかず また

言格

やくそくしたる  
ことに たがはざる  
やうにして なに  
つけても まこ  
とをもつて まど  
はるべし

○人まな  
ばざれば  
みちを  
らす

禮記

解釋口授

人は學問せざれば人たるもの、なすべきみちを志ることあたはず  
ゆゑに人はいと

けなきときより勉強して學問をかすべし



首卷終

明治十六年十二月廿日版權免許

正價金 錢

近刺教科書目

小學初等作法書

新撰小學書牘

初等修身書首卷  
授用

中等修身書

新撰小學地誌

學校用珠算書

猶續々出版

編者

滋賀縣士族

西川

文仲

出版人

上京區茅場町  
地寄留  
京都府平民

大黒屋太郎右衛門

上京區茅場町  
下丸屋町三番戸

發賣所

京都河原町通二條下二丁目

教科書出版所

大黒屋書舖

西  
初<sub>川</sub>等<sub>文</sub>  
修<sub>仲</sub>身<sub>編</sub>  
書  
卷一

K110.1  
115  
2